

会長 竹野 満                      副会長 田中 雅承  
幹事 石原 満彦                  副幹事 田中 雅貴  
会計 樋貝 浩久                  会報 田中 雅承

#### 事務所

〒409-3812 山梨県中央市乙黒 158-2

(山梨ビジネスパーク (株) カルク内)

TEL 055-273-5344 URL <http://yamachuo-rc.net/>

FAX 055-273-8010 E-mail [rotary@yamachuo-rc.net](mailto:rotary@yamachuo-rc.net)



奉仕を通じて  
**平和を**

2012～2013 RI会長 田中 作次  
第2620地区ガバナー 高野孫左衛門  
例会日・毎週金曜日 12:30～13:30  
例会場・(株)カルク(055-273-5344)

2013年 7月 5日 第1588回例会

## 本日のプログラム

### 役員・理事

### 就任挨拶

#### 会長挨拶

#### 「退任するにあたり」

#### 会長 竹野 満

最後の会長挨拶となりました。当会の役員さんや会員の皆様に大変御世話になりました。何とか2回目の会長の任期を全うさせていただきました。又、本日は大変忙しい中を、野口ガバナー補佐にわざわざ来ていただき有難うございました。

思い出しますと、本年度の当初に、大先輩方の悲報が重なり、又、山梨県経済活動が右肩下がりの方でした。年度の中ごろから、アベノミクスと黒が流行し始めました。

私は、自分の職業を基本に会長挨拶をさせていただきました。本来であれば、RCの話題を中心にすべきであったのですが、私の仕事で何かためになればと思って挨拶の中に入れました。参考になっていれば幸いです。

野口ガバナー補佐と、特に思いで深いのは、米国の交換学生で色々のところに伺わせていただいたことです。其中で、補佐の努力には、頭が下がりました。こんごともよろしく願いいたします。これで最後の挨拶とさせていただきます。

#### 幹事報告

#### 副幹事 田中 雅貴

1. 本日は、山梨第3分区野口英夫ガバナー補佐と角田貞三補佐事務局長が最終の公式訪問でお出で頂いております。

「クラブ協議会」にて宜しくお願い致します。

2. 第2620地区高野ガバナーより7月のロータリーレート1ドル99円との連絡が届いております。

3. 次年度の「クラブ計画書」が仕上がり、志田洪顯ガバナーエレクト事務所・国守清響次期アシスタントガバナー事務所と親クラブの南アルプスRC次期会長宛に送付してあります。

会員の皆さんには本日、「クラブ計画書」を配布致しました。

4. 「山梨第3分区I・M」の「平和について、私も言いたい」に参加して頂いた甲府昭和高校3年生の千葉あかりさんの文章を週報に掲載致しましたので、一読して下さい。

5. 例会変更のお知らせ

☆甲斐シティーロータリークラブ☆

7月10日(水)の例会は「早朝例会」の為 会場の変更

点 鐘：午前6時30分

会 場：「赤坂台農園」

例会後は「さつまいも畑」の草取り作業を行います。

(小雨決行・大雨例会のみ開催)

## 前回の例会記録

### 第1587 出席報告

会員数	免除	出席者	欠席者	出席率	メイクアップ	前回の修正出席率
10名	0名	6名	4名	60%	3名	100%

**届出欠席者** 石原 満彦君 笹本 哲翁君  
樋貝 浩久君 遠藤 一郎君

**届出失念者** なし

**出席免除者** なし

**メイクアップ** 笹本 哲翁君 石原 満彦君  
樋貝 浩久君

**ビジター** 野口英夫ガバナー補佐  
角田貞三補佐支援委員

**備考** なし

### ニコニコ BOX

- 貴クラブの竹野会長他皆様の協力のお陰で一年を無事に終る事が出来ました。ありがとうございました。

甲斐シティーRC  
野口ガバナー補佐  
角田ガバナー補佐支援委員

- 野口英夫ガバナー補佐、角田貞三事務局長、ガバナー補佐公式訪問ご苦勞様です。宜しくお願ひします。尚、竹野年度最終例会会長ご苦勞様でした。

山梨中央RC  
田中 雅承 鮎川 一明  
田中 直行 原田 哲  
田中 雅貴 竹野 満

### 発表弁論

#### 山梨第3分区 I・M

#### 「平和について私も言いたい」(2)

#### 甲府昭和高等学校3年

#### 千葉 あかりさん

反対に、豊かな生活をしている人は、「お金を持っていて何でも自分の思い通りに出来れば平和」と思っているかもしれない。

私にとっての平和は、学校に行けること、好きなモノを買えること、学校に居る友だちと話が出来ること、家族と笑顔を交わせることでしたり、私の家のお向かいに住んでいる小さな女の子が、家の外に出て来た私を見て

「お姉ちゃ〜ん!!」と、元気に手を振ってくる様子が見れること、ソレに私も答えて手を振り返せること、今こうやってお話させて頂いている中で未だに緊張していて手のふるえがおさまらないこと、明日も何事もなくみんなが無事ですごせること。

この様に、この世界には沢山の平和であふれています!

今、私が挙げたこと以外に、みなさん自身にも、みなさんの平和が存在すると思います。

戦争という出来事によって、改めて再認識されたこんにちの平和という概念は、これからの私たちの生き方によって、戦時中の「戦争に勝利することが平和につながる」という意味に変わってしまうのではないかと、私は考えています。

今、私たちが穏やかな世界で暮らしているのも、終戦から今までの70年間弱を戦争なしですごせているのも、この平和の概念のお陰だと思っています。

年月を重ねるごとに、戦争を体験した人はいなくなっています。この日本に戦争を体験した人が居なくなった時、私たちは…又は私たちのあとの世代は戦争をせずに…こんにちの平和の概念を変えずにそれから先、すごしていけるでしょうか?

戦争を体験した人の苦しみや悲しみをふみにじる様なことをせずに済むでしょうか?

そう言った危うい未来にしない為にもまず「戦争の先に平和がある」、「武力こそ平和の道を開くもの」と考えてはいけません。

そして、小さな戦争と呼べるであろう私たちの身の周りで起こる口論や争いの数をおさえる為にも、コミュニケーションを取ること。相手の気持ちを考えるだけでなく、国外の方とのコミュニケーションでしたら、その国の文化、習慣、宗教を理解し、共有することが大事だと思います。

(次回へつづく)

次回のプログラム 7月12日(金)

会員卓話

樋貝浩久会員